

平成 25 年 6 月 6 日

平成 25 年度電気化学会北陸支部春季大会ならびに講演会、見学会記録

電気化学会北陸支部

「若手の会」および「夜なべ談義」(参加者 22 名)

日時：5 月 23 日(木) 21:00~23:00

場所 糸魚川温泉 ホテル國富アネックス

講演 1. 「半導体ナノワイヤー光触媒」

新潟大学助教 齊藤健二 先生

2. 「導電性高分子を利用した酵素電極の開発」

長岡技術科学大学助教 桑原敬司 先生

研究紹介および質疑応答、また、講演内容を通じて参加者の親睦と交流を深める目的で、2名の若手研究者に講演して頂いた。最初に、新潟大学助教 齊藤健二先生より、光触媒性を有する半導体ナノワイヤーの調製からその触媒作用まで、新しい知見を披露して頂いた。次に、長岡技術科学大学助教 桑原敬司先生より、導電性高分子を利用した酵素電極に関する興味ある研究を紹介して頂いた。その後、飛び入りで、富山大学水素同位体科学研究センター教授 阿部孝之先生に多角バレルスパッタリング法を用いた高活性触媒の話をして頂いた。

すべての講演で非常に活発な論議が展開され、有意義な会となった。これからは、若手の会には「若い」と思っておられる大先生方にも、どんどんご参加頂くのも恒例化するだろう。

講演会 (参加者 27 名)

日時：5 月 24 日(金) 9:15~10:40

場所：ヒスイ王国館

1. 「白色LED用 $\beta$ サイアロン蛍光体の開発」

電気化学工業株式会社 中央研究所 副所長 伊吹山 正浩 氏

2. 「とっておきのヒスイの話」

フォッサマグナミュージアム 学芸員 宮島 宏 氏

最初に、電気化学工業株式会社 中央研究所副所長 伊吹山正浩氏より、白色LED、特にサイアロン系の材料についてご講演を頂いた。LEDとテレビ、あるいはゲーム機との深い繋がりや、今後のLEDの展開について貴重なお話を伺った。次に、フォッサマグナミュージアム学芸員 宮島宏氏より地元の産業に密着したヒスイの大変面白いお話を伺った。雑学的な話から地球科学的なヒスイの成り立ちまで、前日の飲み過ぎも苦にならない程、興味深い話を伺うことが出来た。講演終了後に活発な質疑応答が交わされ、講演会は盛会裏に終了した。

見学会(参加者 17名)

日時：5月24日(金) 12:45～14:35

場所：電気化学工業株式会社 青海工場・田海工場

電気化学工業(株) 青海工場・田海工場を見学させて頂いた。最初に見学した石灰岩の採掘場では、大型重機や採掘場の広大さに驚いた。次に、カーバイド生成用大型電気炉では、生成原理の説明を受け、実際に生成された高温カーバイドを身近に拝見した。ここでは普段の研究テーマである電気化学的手法が使われていることに感激した。最後に、うなぎ養殖場を見学させて頂いた。初めて養殖現場を見学して、新鮮な驚きがたくさんあった。特に、大きな養殖池に、ものすごい数のうなぎがえさを奪い合う光景は恐ろしさ(?)や気持ち悪さ(?)さえ感じた程であった。でも最後にウナギの試食がしてみたかったと思う今日この頃。

以上